

ふれあいフェスティバル 2017

10月21日 土

12:30-15:30 ※雨天決行

会場：
下関病院附属
地域診療クリニック

ご参加ください

- ららカフェ(認知症カフェ) 紹介コーナー
- 認知症家族会紹介コーナー
- 看護師による健康診断コーナー
- 心理士、精神保健福祉士による相談コーナー
- 作業療法体験
- 作品展示コーナー



うどん販売あります

13:40~13:50

事前説明会

「認知症カフェ始めます」

小川 咲子(心理士)

14:00~15:00

公開講演会

「絆という視点からみた認知症」

中山 寛人(医師)

催し物

12:50 ~ 13:10

下関総合支援学校運動部による
ステージ発表(ダンス)



welcome!

イベントはすべて参加無料です。
どなたでもご参加いただけます。

デイケア 作品販売

- 就労支援事業所・作業所による出店 -

かじくり 【豆腐・コーヒー】

煌 -KIRAMEKI- 【小物類・雑貨】

はーとあーす勝谷 【パン】

八起の家 【マフィン・菓子パン・ラスク】



駐車場に限りがありますので、
徒歩または公共交通機関の
ご利用をおすすめいたします。

- JR山陰本線 梶栗郷合地駅⇒徒歩5分
- サンデン交通 梶栗バス停⇒徒歩5分

医療法人水の木会 下関病院附属地域診療クリニック
〒759-6614 下関市梶栗町4丁目2番34号
☎ 083-262-0832 www.mizunoki.jp

水の木会 検索

ふれあいフェスティバル実行委員会

公開講演会のご案内

日時

2017年 **10月21日** (土) **14:00 ~ 15:00**

会場

医療法人水の木会 下関病院附属
地域診療クリニック 3階 ホール

〒759-6614 下関市梶栗町4丁目2番34号

予約不要・入場無料

公開講演会

「絆という視点からみた認知症」

最近、テレビや新聞、雑誌などで認知症がよく取り上げられるようになりました。認知症が痴呆症と呼ばれていた時代にはその障害をオープンにできない空気感もありましたが、それも少しずつ変わりつつあります。良い意味で社会全体の意識が変わってきた面もありますが、残念ながら様々な社会問題（自動車事故、徘徊、虐待など）でクローズアップされることのほうが多いように感じます。認知症者数の加速度的な増加によって、私たちはこれまでの地域のあり方を考え直すよう迫られています。国も対策に本腰をあげていますが、地域全体で認知症への対応力を高めていくことも大切だと思います。他人事ではなく、（いずれは）自分事です。認知症は“ものわすれ”と表現されることが多いですが、病気の進行とともに“ものわすれ”以外に多くのハンデを背負うこととなります。そのため、多くの人は苦悩し、仕事や趣味から遠ざかることを強いられ、人前に出ることが減っていきます。つまり、その地域の寛容さにも左右されますが、社会や人との接点が次第に失われます。さらに、過去から現在に至る歴史的関係性も希薄になります。このような点で、認知症は他の病気とは質が異なります。単なる脳の病気という枠を超え、絆を失いやすい社会的な病気とみることもできます。絆を失うことは、人間としての尊厳が傷つくことにつながります。絆を結びなおすために、絆を失わないために、自分達に何ができるか考えていきましょう。

【主な略歴】

2002年 山口大学医学部医学科卒業
2002年 山口大学医学部神経内科
2009年 県立こころの医療センター（認知症疾患医療センター、
高次脳機能障害者支援センター）
2014年 医療法人ふらて会 西野病院（北九州市八幡東区）
2016年 医療法人水の木会 下関病院

【所属学会・資格】

精神保健指定医
認知症サポート医
日本老年精神医学会 専門医/指導医/評議員
日本認知症学会 専門医/指導医
日本認知症予防学会 評議員
日本高次脳機能障害学会



中山 寛人 先生

主催



MIZUNOKI

医療法人水の木会 下関病院附属地域診療クリニック

お問い合わせ 083-262-0832 (代)

水の木会 検索
www.mizunoki.jp